

蒼穹NEWS No.4

七大戦総括号

平成 15 年 8 月 17 日発行



~~~~ 目 次 ~~~~

1. 主将・監督挨拶
2. 七大戦 総合成績
3. 七大戦 詳細
4. 七大戦 記録

## 主将挨拶

去る8月1日、恒例の国立七大学対校選手権大会が北海道・札幌にて開催されました。

戦前は、複数の大学で大混戦になるのではとの予想でありましたが、京大の選手達の勝利への執念が勝り、各種目でコツコツと積み上げた得点は、結果的に2位の東北大学を大きく引き離しての総合優勝へとつながりました。持ち前の総合力の強さを見事発揮でき、文字通りチーム一丸となって掴み取った勝利でした。札幌という遠方の地での開催でしたが、足をお運びくださった蒼穹会の方々の目前で素晴らしい試合をお見せできたことを嬉しく思います。

女子の部も、今年は総合3位にまで躍進しました。他大と比べて絶対的に不利な状況を作っていた部員数の問題が解決しつつあり、部内でも互いに切磋琢磨するいい雰囲気ができています。女子は名大・東大の二強時代が続いていますが、今回の結果を三強時代への布石にしてほしく思います。

七大戦が終わったことで今シーズンも後半戦となりますが、今回の大勝に驕ることなく現在の課題・今後の目標にむけてこれからも部員一同精進する所存であります。蒼穹会の皆様には、今後も変わらぬご支援、ご声援をよろしくお願い申し上げます。

京都大学陸上競技部主将 磯島 弘

## 監督挨拶

出だしこそ低調でしたが、女子の高跳びの1, 2位や110mHでの3人決勝進出ぐらいから調子が出てきました。男子は、他の大学がランキングを落としていく中、トラック競技を中心に飛び出した東北大学に中盤何とか追いつき、終わってみれば2位東北大学に30点もの大差で優勝（両りレーでも優勝）しました。女子もフィールド優勝と総合3位という結果を収め、男子女子どちらも存在感を示せた大会でした。特に4回生が底力を見せ、盛り上げてってくれた大会だったと思います。

札幌開催と京都からは遠いところ応援に駆けつけて頂いた蒼穹会の皆様には、本当にありがとうございました。とても心強かったです。

京都大学陸上競技部監督 八木 美典

**第 55 回全国七大学対校陸上競技大会 対校得点**

|     |       |       |                 |
|-----|-------|-------|-----------------|
| 1 位 | 京都大学  | 101 点 | (T 44 点 F 57 点) |
| 2 位 | 東北大学  | 71 点  | (T 50 点 F 21 点) |
| 3 位 | 名古屋大学 | 69 点  | (T 45 点 F 24 点) |
| 4 位 | 大阪大学  | 68 点  | (T 24 点 F 44 点) |
| 5 位 | 東京大学  | 42 点  | (T 22 点 F 20 点) |
| 6 位 | 九州大学  | 27 点  | (T 27 点 F 0 点)  |
| 7 位 | 北海道大学 | 19 点  | (T 19 点 F 0 点)  |

**第 15 回全国七大学対校女子陸上競技大会 対校得点**

|     |       |      |                 |
|-----|-------|------|-----------------|
| 1 位 | 名古屋大学 | 29 点 | (T 19 点 F 10 点) |
| 2 位 | 東京大学  | 21 点 | (T 18 点 F 3 点)  |
| 3 位 | 京都大学  | 16 点 | (T 2 点 F 14 点)  |
| 4 位 | 東北大学  | 10 点 | (T 10 点 F 0 点)  |
| 5 位 | 北海道大学 | 2 点  | (T 0 点 F 2 点)   |
| 6 位 | 九州大学  | 1 点  | (T 1 点 F 0 点)   |
| 6 位 | 大阪大学  | 1 点  | (T 0 点 F 1 点)   |

## 七大戦詳細

### 3000mSC決勝

9位 大崎 友数(4) 9.44.37

14位 田中齊太郎(4) 10.09.29

スタート直後、東北大の選手が一人飛び出すが大崎、田中は集団の中に位置を確保する。初めの1kmを大崎は3分1秒、田中は3分12秒で通過。次の1kmで、集団の下方につけていた田中は順位を上げてゆくが、ラスト1kmで再び順位を落とし、14位でのゴールとなった。一方、大崎は始終、得点を狙える位置につけ、粘り強いレースを進めるが、結局9位でのフィニッシュとなり得点には結びつかなかった。しかし自己ベストを10秒以上更新してのゴールだった。(山本す)

### 400m予選 (3組2着+2)

1組2着 村地 優樹(4) 49.82 通過

2組1着 水谷 太郎(2) 49.95 通過

3組4着 涌井 建策(2) 52.01

男子400mには村地、水谷、涌井が出場した。第一組、最後の七大となる村地が前半はリラックスした走り、最後は激しい二位争いを制し見事に予選を突破。

第二組の水谷は、終始余裕を持ってレースを運び、一位で予選を突破した。

第三組の涌井は七大初登場。緊張のためか硬さが目立ち低調な記録に終わったが、練習では好調なだけに残念である。決勝に進出した村地、水谷には好走の期待がかかる。(真鍋)

### 110mH予選 (3組2着+2)

1組3着 萩澤 佑樹(1) 15.56(-0.9) 通過

2組2着 垣畑 陽(4) 15.51(-0.5) 通過

3組1着 尾崎 禎亮(4) 15.43(-0.2) 通過

四回生の垣畑、尾崎、そして一回生の萩澤が出場。一組の萩澤試合前から調子がよく、好記録が期待されたが緊張のためか動きが硬く、全体的にスピードに乗れないまま三着となった。が、プラスで拾われ決勝に進出。

二組垣畑は欠場二名のため四名でのレースとなった。五台目までは横一線となったが、徐々に差をあげられ三位となった。が、最後の十台目で追い上げ、一人刺して二着でゴール。

今期今ひとつ波に乗れない尾崎だったが、最後の七大で気迫十分。終始レースをリードし、三組一着で決勝進出を決めた。(白方)

### 円盤投決勝

5位 垣畑 陽(4) 31m12

6位 森川 陽介(2) 30m83

8位 吉崎 敬祐(2) 28m87

垣畑[31m12-x- -30m91-31m12-x]

森川[30m83- - -30m48-30m00-29m42]

吉崎[28m87- -x-x-28m31-x]

今回の円盤投げは得点圏内で同じくらいの記録の選手が多く、混戦が予想された。

垣畑は、ポールがあったので、三投続けて投げ、31mとまずまずの結果だったが、ポールから帰ってきて投げてその記録は超えられなかった。

森川は、多少力んでいたようだが、安定して、30m付近に投げられていた。

吉崎は、最近不調で、今回でもまだキレが戻っておらず何とかベスト8に残ったものの、本人にとっては不本意な結果に終わった。(木村か)

### 100m予選 (3組2着+2)

1組5着 石田 真大(2) 11.35(-0.2)

2組2着 北垣 卓(4) 11.16(+0.4) 通過

3組2着 松井 延行(3) 11.15(-0.4) 通過

一組目に出場した石田は、前半まずまずの加速を見せたが、後半力みが観られ失速し五着でゴールした。

二組目の北垣は自身がフライングをしてしまったが、次はきれいにスタートした。前半は中盤あたりであったものの、後半伸び二着でゴール。見事決勝進出を決めるとともにシーズンベストもたたきだした。

三組目の松井は隣のレーンのフライングと一時中断の不運も重なったが、前半から勢いよく飛び出し、後半は周囲を見回すほどの余裕を持って二着でゴールし、決勝に駒を進めた。(瀬々井)

### 1500m決勝

12位 三好 達也(3) 4.07.20

16位 西村 好康(4) 4.10.57

20位 加藤 圭祐(2) 4.16.70

小雨の中、京大勢は長い列の後方につく。400mを通過した後、三好、西村、加藤の順で前を少しずつ追い抜いてゆく。加藤は一番後ろの一人を抜くが全体のハイペースについてゆけず、集団から離れる。三好、西村は集団の中盤まで追い上げるが、こちらもハイペースの先頭に追いつくことは出来ない。そのため、1000mを通過した後、ほとんど順位が変わらずレースが終わってしまった。誰も6位以内に入ることは出来ず、残念な結果となった。(光安)

### 400m決勝

4位 水谷 太郎(2) 48.94

6位 村地 優樹(4) 49.54

男子400m決勝、このレースを走るの村地と水谷。村地は予選の通過タイムの苦しいため、最初から積極的に突っ込み、一気に勝負を賭けるが、バックストレートで九大の選手に交わされる。水谷はうまくスピードに乗り、普段の後半の追い上げに部員の期待が集まる。

が、二人とも最後はややばててしまい、水谷は48秒94で三着、村地は49秒54で六着。雨天に加えて肌寒いコンディションの中、二人ともタイムはベストには届かなかった。村地は四回で最後のレースとなってしまったが、水谷はまだ二回であり、来年の七大戦の雪辱に期待がかかる。(山田)

### 110mH決勝 (-0.2)

4位 萩澤 佑樹(1) 15.13  
7位 垣畑 陽(4) 15.37  
8位 尾崎 禎亮(4) 15.59

一回できれいに決まったスタート。一台目のハードルでは横一線という感じ。四台目あたりで尾崎が集団に離されてしまい、結果15秒59の八位。垣畑は他にも三つの競技に出場していたため厳しいレースになると思われたが自己ベストを十分の一秒近く縮めて健闘した。タイムは15秒37の七位。萩澤は前半は少し硬かったが後半はリラックスして走り、生涯ベストとなる15秒13の四着。タイムから見て分かるとおりかなりレベルの高いレースとなった。(金村)

### 女子100m決勝 (-0.6)

6位 海野 益代(2) 13.90  
7位 滝上 伸子(4) 14.36

女子100m決勝には滝上と海野が出場したが天候は雨で、コンディションは悪い。今年が最後ということで、意気込んでいた滝上だったが、スタートこそ悪くなかったものの、その後余りスピードに乗り切れず七着でのゴールだった。海野もまた同じ様なレース展開になり六着でゴール。海野はまだ二回生なので来年はもっと上位を目指して頑張りたい。(大野)

### 100m決勝 (-0.6)

2位 松井 延行(3) 10.93  
5位 北垣 卓(4) 11.18

一度目のスタートは北垣が予選に続きフライング。二度目のスタートは阪大の萩山が失格し、スタートへの影響が心配されたが三度目はきれいに決まった。40mぐらいで松井が前に出てきて、東大式場とトップ争いに。そして北垣は五位をキープしそのままフィニッシュ。結果は松井が百分の七秒差の10秒93で惜しくも二位。北垣は11秒18の五位という結果になった。(金村)

### 棒高跳決勝

1位 河合 春菜(1) 1m45  
2位 海野 益代(2) 1m40  
河合[1m35 -1m40 -1m45×× -1m48×××]

### 海野[1m35× -1m40 -1m45×××]

河合、海野は共に1m35を成功し、北大の選手を含めた残り3人になり得点を確定させた。1m40も共に1回目で成功させ、北大は3回目で成功させ、三つ巴で1m45へ。3人全てが2回目まで決められなかったが、河合が3回目で成功した。海野は一步及ばなかったもののスコルクを達成し、この得点で京大女子は総合トップに躍り出た。(高橋)

### 棒高跳決勝

4位 垣畑 陽(4) 3m80  
5位 平野 聖(4) 3m60  
7位 浜田 良太(4) 3m40

垣畑[3m60 -3m80×× -4m00×××]

平野[3m40 -3m60 -3m80×××]

浜田[3m20 -3m40 -3m60×××]

垣畑ははじめから綺麗な跳躍で3m80まであっさりクリアした。3m80は2回失敗してしまったが、練習からの調子の良さで見事クリアした。この時点で4位以上は確定し、次はいっきに4mまで上げたが惜しくも失敗してしまった。4位となった。

平野は3m40と3m60を順調にクリアした。3m80では助走の勢いをうまく上に伝えることができずに3回失敗し、5位で終となった。

浜田は3m20と3m40をクリアした。3m60では残念ながら失敗し、7位となった。(田端)

### 走幅跳決勝

2位 杉本 昌大(3) 6m94 (+0.9)  
9位 萩澤 佑樹(1) 6m45 (+0.8)  
10位 高橋 孝治(2) 6m43 (-0.6)

杉本[6m94-6m78-×-6m70-6m84-×]

萩澤[6m15-6m32-6m45]

高橋[×-6m43-×]

男子走幅跳は、途中から雨が降り始めるというコンディションの中で行われた。

杉本は1本目に6m94を跳んだが、5本目に東大藤田が7mを跳び惜しくも2位となってしまった。しかし、杉本はきっちり得点をものにしてくれる活躍を見せてくれた。

高橋は3本中2本ファールとなってしまい6m43の記録にとどまってしまった。

また、萩澤はハードルの決勝と時間が重なる中でも6m45を跳んだ。ベスト8ラインが6m50で、高橋と萩澤にとっては残念な結果となってしまったが、この結果をこれ以降につなげて欲しい。(高瀬)

## 砲丸投決勝

- 2位 竹村 顕大朗(4) 12m22  
3位 森川 陽介(2) 11m62  
5位 田中 聡一(2) 10m40

竹村[11m15-x-x-11m04-11m91-12m22]

森川[10m42-11m05-11m35-10m40-x-11m62]

田中[10m16-10m25-10m00-x-10m40-x]

砲丸投げは一投目が終わるころから生憎の雨模様となってしまった。竹村は二投目、12mを大きく超える投げを見せるも、結局ファールし、三投目までの記録 11m 前半台の森川もグライドからのつながりが上手くいかず、11m 中盤台と出だしはいまひとつ。田中は 10m 中盤台を出し、ベスト 8 に残ることができた。

四投目以降、雨脚の強まる中、竹村は、四投目失投したものの、六投目には意地を見せ 12m22 の二位に浮上。対して森川は四投目以降もふるわず三位となった。また田中は見事に五位入賞を果たし、京大は合計で 11 点を砲丸で獲得した。(竹村)

## 女子800m決勝

- 7位 岩瀬 祥子(4) 2.32.09  
10位 川口 紗弥香(1) 2.40.93

岩瀬は最近練習でも 400m など好調な走りを見せていた。今日は、前半から積極的に行くとの言葉通り、400m を 72 秒で通過。苦しそうな表情を見せるも、粘り強く最後まで走りきり、見事に自己ベストを 2 秒以上更新した。2 分 30 秒を切るのも近いのではないかと思われる。

一回生川口はこれが大学デビュー戦となった。集団から離されたが、我慢のレースを展開し、今後、期待できる内容であった。(中村ゆ)

## 800m予選 (3組2着+2)

- 1組1着 岡本 英也(2) 1.58.26 通過  
2組4着 前川 真彦(2) 1.58.51  
3組2着 磯島 弘(4) 1.58.34 通過

1組目、岡本はゆったりしたペースでスタート。200m で先頭に立つと、そのままレースを引っ張りラスト 300m でスパートをかけた。

2組目に出場した前川は厳しいレースとなる。団子状態のまま 60 秒で 1 周目を通過。ラスト 200m になっても混戦状態。そのまま 4 着でのゴールとなった。

3組目、磯島は序盤からハイペースでレースを展開。57 秒で 1 周目を通過。そのままスパートをかけ、ラストは余裕を持って 2 着でゴールした。(葎中)

## 400mH予選 (3組2着+2)

- 1組1着 水谷 太郎(2) 55.95 通過  
2組3着 桑原 昇(2) 57.63  
3組6着 白方 朗文(2) 62.02

一組を走った水谷は 400 の決勝を終えて疲労の抜けきらないままのレースとなった。しかし安定したレース運びできっちり二着に入り決勝へ進出。

二組桑原は前半から積極的に上位二人に食いついていく。が、あと少しのところプラスに拾われず、惜しくも決勝を逃す。

三組白方は前半から 200 を 25 秒の驚異のペースで先頭をひた走り、そのブランクを感じさせないレースだった。(井上)

## 200m予選 (3組2着+2)

- 1組4着 堀江 匠(3) 22.67(-1.2)  
2組2着 松井 延行(3) 22.57(-1.1) 通過  
3組1着 藤井 章輔(4) 22.38(-1.2) 通過

堀江は一組三レーンに出場。前半は快調なペースでカーブの出では二番手だったが、ラストは向かい風のために伸びず、結果四着。

二組に出場した松井はスピード活かし前半でトップに立つと、後半はリラックスして走りぬげ二着でゴール。

三組に出場した藤井章輔は最初から飛ばし、ゴール付近では周囲を見渡す余裕さえ見せるなど、余力を残して一着でゴールし、決勝に進んだ。(七野)

## 女子3000m決勝

- 7位 山下 里絵(4) 11.06.49  
10位 中村 奈都子(4) 11.45.18

山下は、近頃試合に出る度に自己ベストを更新している。今日も、目の前の選手を確実にマークしつつ安定したレースを展開し、最後には競り合っていた阪大の選手もかわして、先月 15 秒ほど更新した自己ベストをさらに 9 秒も更新した。

中村は、集団から離されてしまい、苦しそうな表情を見せていた。レースは満足できるものではなかったようだが、最後の直線では前の選手をとらえる粘り強さを見せてくれた。(中村ゆ)

## 女子走幅跳決勝

- 1位 海野 益代(2) 5m20 (+1.0)  
3位 森村あかね(2) 4m72 (+1.7)  
海野[5m20-5m19- -5m13-x-5m14]  
森村[4m53-4m38-4m60-4m40-4m72-x]

女子走幅跳に出場したのは二回生の森村と海野。森村は 4m72 と、大学ベストに数 cm 足りなかったものの、第三位の成績となった。自己ベ

トは4m95であるので、これから更なる成長を遂げて是非とも5mを越えて欲しい。海野は自己ベストが5m21であったが、今回は5m20の記録を出した。この記録は堂々の第1位となった。惜しくも自己ベスト更新とはならなかったものの、今回は5m18や19といったベストに近い記録も次々に出しており、これからの新記録が大いに期待できる結果であった。(林)

### やり投決勝

- 2位 山本 貴之 (1) 53m43  
 4位 野々垣春戸陽(1) 52m28  
 5位 松田 俊 (3) 50m12  
 山本[x-40m20-49m90-44m42-x-53m43]  
 野々垣[ - -47m91-x-48m10-52m28]  
 松田[41m23-48m32-49m86-49m12-50m12-49m62]

1投目、まず山本が先陣を切って投げたが、残念ながら右側にそれた。続いて野々垣の投げたやりは48m付近に刺さった。続いて松田がはなつたやりは50m手前に刺さった。

野々垣、松田はそのまま順当にベスト8に進出、山本も3投目で50m手前まで投げてベスト8進出となった。

5投目松田が動いた。50m12を投げ、3位に躍り出た。野々垣も6位に上がる。そして最終投擲。

野々垣が52m28のアーチをかけた。続く松田はショート、京大ラストの一投、山本が放つたやりは53m43の大アーチをかけた。見事に2位に躍り出た。やり投げ3人は2,4,5位を占め、見事に10点を獲得した。(竹村)

### 走高跳決勝

- 4位 横矢龍之介(3) 1m85  
 7位 松久 佳弘(2) 1m85  
 8位 垣畑 陽(4) 1m85  
 横矢[1m80 -1m85 -1m90×××]  
 松久[1m75×× -1m80 -1m85×-1m90×××]  
 垣畑[1m85×× -1m90×××]

垣畑は直前に円盤投げと110mHを2本と棒高跳に出場した疲れからか、1m85を2回失敗したが、3回目はクリア。公式でのベストを更新した。1m90では流れ気味の跳躍になってしまい、8位に終わった。

横矢は1m85まで問題なく綺麗にクリア。1m90では助走から踏み切りまでがかみ合わず3回失敗。4位で得点を稼いでくれた。

松久は1m75で2回失敗して追い込まれたが3回目に余裕でクリア。その後は順調に1m85まで跳んで自己ベストを更新した。1m90では力んでしまったのか体が浮かばず、7位で終わった。(田端)

### 4×100mR決勝

1位 41.93

[松井延行 藤井章輔 堀江匠 北垣卓]

男子四継はアウトの七レーンでスタート。一走松井はこの日五本目の疲れを微塵も見せず好スタートを切った。

続いて、二走藤井も今期故障と病気に泣かされた鬱憤を晴らすかのごとく鬼気迫る走りで一気にトップに立つ。

そして三走は堀江。他大学の追隨を許さず、そのままアンカー北垣にバトンをつなぎ、この日波に乗っている北垣に勝負は託された。

そして、勝負はアンカー勝負に。各大学ともエースを揃え、一気に勝負をつけようと猛追。が、この日の北垣は不調に悩んだ六月とは別人のようで、スタンドの声援を浴びそのまま指を高らかに突き上げて一着でゴール。昨年、瑞穂でのレース中の肉離れの雪辱を果たした。(山田)



ガッツポーズでゴールに飛び込む北垣

### 400mH決勝

2位 水谷 太郎(2) 53.60

決勝進出を果たした水谷はここまで三本の過酷なレースをこなしており、その疲労は極地に達しているといっている。前半は普段どおりの走り後半の猛追を伺う位置につけ、順調に見えたが最後の直線でいつもの切れが見られない。しかしそれでも四本目のレースとは思えない粘りとスピードで見事二着に食いこんだ。水谷の地力が垣間見えたレースであった。(井上)

### 女子砲丸投決勝

- 4位 北川 佳奈(4) 6m96  
 5位 森村あかね(2) 6m37  
 北川[6m96-6m48-6m83-6m62-x-6m46]  
 森村[x-6m29-6m34-6m31-6m07-6m37]

女子砲丸投げは投擲専門である名大の一番手が序盤から2位以下に大きく差をつける展開となったが、2位以下は6,7m台の混戦となった。北川は1投目に7m近くの投擲を見せた。が、以降は力んでしまったためか、思うような記録を出せず、ベストに届かなかったものの、4位入賞を果たした。

森村は、最初の試合ながらも6m中盤と善戦。結果は惜しくも5位と入賞を逃したが、今後の試合での成長が期待できるものであった。(竹村)

### 800m決勝

2位 岡本 英也(2) 1.56.41

7位 磯島 弘(4) 2.02.09

磯島は1レーン、岡本は3レーンからスタート。ゆったりしたペースで直線に入ると岡本が先頭に出て、レースを引っ張り、58秒で1周目を通過。岡本はラスト300mでスパートをかけ、後続をとき離していったが、ゴール直前に東北大にさされる。2着に終わったものの積極的なレースを見せてくれた。

磯島は4・5番手で1周目を通過したが、バックストレートで先頭集団から離される。いつもの粘りは影を潜めて、7番手に終わり残念な結果になった。(葎中)

### 三段跳決勝

1位 福山 大典(4) 14m63 (+2.2)

2位 横矢龍之介(3) 14m39 (+1.1)

6位 北島 明文(2) 13m75 (+1.1)

福山[14m46-14m44-14m63- x -13m31- x]

横矢[13m82- x -14m18- - x -14m39]

北島[13m51-13m75- x -13m00-13m42- x]

男子三段跳は、雨上がりの少し肌寒い中で行われた。福山は3本目に14m63を出し、トップでベスト8に進出した。その後の跳躍では記録を伸ばすことはできなかったものの、トップの座を守り抜き堂々の優勝だった。

横矢は3本目に14m18を出しベスト8へ。そして6本目に14m39と記録を伸ばし2位となった。

北島は2本目に13m75で6位となった。彼はまだまだ伸び調子であり、今後の活躍が期待できる跳躍を見せてくれた。今大会では出場三選手とも得点を獲得、七大戦を大いに盛り上げてくれた。(吉良)

### ハンマー投決勝

2位 木村 克也(3) 37m12

3位 田中 聡一(2) 36m21

9位 吉崎 敬祐(2) 24m75

木村[ - -36m54- x 36m11-37m12]

田中[ -36m21-36m21- x -36m05-35m38]

吉崎[ - -24m75- - - ]

競技の遅れから、開始時間が大幅に遅れてしまったハンマー投げ。

1投目は各選手ふるわなかったものの、田中は上がり調子で記録を上げていき、木村もそれに負けじと3投目まで田中に抜かれるたびにそれを抜き返すようにして記録を伸ばしていった。

結局、2人は切磋琢磨の末、見事2人とも自己ベストで2位、3位となった。吉崎も健闘を見せたが、惜しくも9位となり残念ながらベスト8を逃した。(竹村)

### 200m決勝 (0.0)

2位 藤井 章輔(4) 22.11

4位 松井 延行(3) 22.42

200mの決勝には松井と藤井章輔が進出。二人とも予選から好調で、4×100リレーでも優勝し勢いに乗った状態でレースを迎えた。予選と同じように前半から飛ばしていき直線に入った時には藤井は二位、松井は五位。藤井章輔は直線でトップとの差を縮めたもののわずかに及ばず、22秒11で二位。松井は一人交わして22秒42で四位だった。(七野)



二位に食い込んだ藤井章輔

### 5000m決勝

8位 渡辺 敬宏(4) 15.20.96

16位 宮木 貴志(3) 16.08.20

19位 石塚 晶啓(3) 16.28.10

予想通り、スタート直後に東北大の橋と、東大のルーキー松本が飛び出した。第二集団もハイペースでレースが進むが渡辺はそこにつく。石塚・宮木は集団から離される。渡辺は得点圏内の位置をキープし、4200m付近から単独6位をなり、得点を期待されたが、ラスト1周で後方からの追い上げに屈した。それでも暑さの中、15分20秒97と好タイムをマークした。

石塚は前半飛ばすが後半から大きくペースダウン、宮木は前半体が動かず後半から追い上げる



が、自己ベストからは大幅に遅れ、二人とも悔しい結果となった。(加藤)

### **女子4×100mR決勝**

**3位 54.32**

**[滝上伸子 海野益代 横田裕子 北川佳奈]**

この七大戦に向け一年間調整を続けてきた、女子チーム。なかんずくスプリントチームはこの四継に全てをかけてきた。

一走滝上は七月に入り好調。その好調を維持して、名大、東大にやや離されるものの、二走の海野にバトンをつないだ。海野もこの日二本目になるレースながら、好走。

三走横田は一年で二年間のブランクがあるにもかかわらず、他大学に引けをとらない。そして、アンカーは最後の七大となる北川。交通事故や、桂キャンパスでの研究生生活で満足な練習をこなせなかったものの、見事にホームストレート走りぬげ表彰台へとチームを導いた。(大野)



笑顔で表彰台へ

(左から)滝上・北川・海野・横田

### **4×400mR決勝**

**1位 3.17.44**

**[堀江匠 藤井章輔 水谷太郎 村地優樹]**

ついに迎えた最終種目、男子マイルリレー。この時点で京大の優勝は確定していたが、関西インカレでは惜しくも決勝進出を逃し、全日本インカレ標準も届かず、メンバーとしてはなんとしても優勝は譲れないレースである。

号砲と共に一走の堀江がスタート。一走で一気に波に乗って、勝負したいところだが、今年は四百のフラットレースや400Hの結果が示すように、どの大学も400mの強い選手がそろい苦戦。しかし、そこを耐え抜き、好順位で藤井にバトンをつなぐ。

四継、200mで好走を見せた藤井はここでも最後の七大の最後のレースに相応しいレースを見せる。

また、この日五本目の水谷も周りの気迫にも励まされてか、順位をキープ。

そしてついに勝負はアンカー村地に。村地は途中、東北大に交わされたが最後ゴールラインに身を挺して飛び込み、百分の五秒差で優勝した。(大野)

## 七大戦男子記録

### 1000m (-0.6)

|   |       |       |       |
|---|-------|-------|-------|
| 1 | 米田 武史 | 東京 3  | 10.86 |
| 2 | 松井 延行 | 京都 3  | 10.93 |
| 3 | 渡部 佑一 | 東北 4  | 10.98 |
| 4 | 谷 篤   | 名古屋 3 | 11.02 |
| 5 | 北垣 卓  | 京都 4  | 11.18 |
| 6 | 佐藤 進佑 | 大阪 3  | 11.28 |

### 2000m (0.0)

|   |       |       |       |
|---|-------|-------|-------|
| 1 | 萩山 宣樹 | 大阪 4  | 22.04 |
| 2 | 藤井 章輔 | 京都 4  | 22.11 |
| 3 | 谷 篤   | 名古屋 3 | 22.33 |
| 4 | 松井 延行 | 京都 3  | 22.42 |
| 5 | 日巻 裕敦 | 九州 4  | 22.47 |
| 6 | 渡部 佑一 | 東北 4  | 22.47 |

### 4000m

|   |       |       |       |
|---|-------|-------|-------|
| 1 | 可知 晃徳 | 名古屋 3 | 48.02 |
| 2 | 坂田 敦  | 九州 4  | 48.15 |
| 3 | 北川 達  | 大阪 3  | 48.68 |
| 4 | 水谷 太郎 | 京都 2  | 48.94 |
| 5 | 鈴木 義教 | 東北 2  | 49.31 |
| 6 | 村地 優樹 | 京都 4  | 49.54 |

### 8000m

|   |       |       |         |
|---|-------|-------|---------|
| 1 | 笹野 佳彦 | 東北 2  | 1.55.94 |
| 2 | 岡本 英也 | 京都 2  | 1.56.41 |
| 3 | 庄司 一郎 | 東京 3  | 1.58.43 |
| 4 | 緑川 鷹  | 名古屋 3 | 1.59.18 |
| 5 | 河野 匠  | 北海道 3 | 1.59.88 |
| 6 | 今村 浩二 | 九州 3  | 2.00.20 |

### 15000m

|   |       |       |         |
|---|-------|-------|---------|
| 1 | 橋 明德  | 東北 4  | 3.52.23 |
| 2 | 山崎裕太郎 | 東北 4  | 3.55.75 |
| 3 | 今村 浩二 | 九州 3  | 3.55.96 |
| 4 | 中村 高洋 | 名古屋 3 | 3.56.43 |
| 5 | 松本 祥  | 東京 1  | 3.57.98 |
| 6 | 新井 邦生 | 東京 2  | 3.58.94 |

### 50000m

|   |       |       |          |
|---|-------|-------|----------|
| 1 | 橋 明德  | 東北 4  | 14.38.98 |
| 2 | 松本 祥  | 東京 1  | 14.50.27 |
| 3 | 濱田 翔平 | 九州 3  | 15.06.76 |
| 4 | 中村 高洋 | 名古屋 3 | 15.07.70 |
| 5 | 山家 翔  | 東北 3  | 15.14.74 |
| 6 | 下瀬 幸男 | 九州 2  | 15.15.78 |

### 110mH (-0.2)

|   |       |       |       |
|---|-------|-------|-------|
| 1 | 前里 優介 | 名古屋 3 | 14.93 |
| 2 | 横尾 泰宣 | 北海道 3 | 15.00 |
| 3 | 内山 善仁 | 北海道 2 | 15.04 |
| 4 | 萩澤 佑樹 | 京都 1  | 15.13 |
| 5 | 土屋 貴史 | 東北 4  | 15.22 |
| 6 | 森田 敏広 | 名古屋 4 | 15.28 |

### 400mH

|   |       |       |       |
|---|-------|-------|-------|
| 1 | 牧 祐輝  | 名古屋 1 | 53.56 |
| 2 | 水谷 太郎 | 京都 2  | 53.60 |
| 3 | 内山 義仁 | 東北 4  | 54.35 |
| 4 | 渡邊翔太郎 | 北海道 1 | 55.39 |
| 5 | 細川 淳一 | 東北 3  | 55.69 |
| 6 | 谷 正貴  | 大阪 4  | 56.27 |

### 3000mSC

|   |       |       |         |
|---|-------|-------|---------|
| 1 | 藤田 浩史 | 大阪 3  | 9.29.55 |
| 2 | 瀬崎 雅則 | 東北 4  | 9.35.08 |
| 3 | 山本 大佑 | 九州 4  | 9.35.41 |
| 4 | 北村 仁  | 名古屋 1 | 9.38.57 |
| 5 | 伊藤 寿  | 北海道 4 | 9.38.58 |
| 6 | 大久保忠博 | 九州 3  | 9.41.09 |

### 4x100mR

|   |       |       |
|---|-------|-------|
| 1 | 京都大学  | 41.93 |
| 2 | 九州大学  | 42.29 |
| 3 | 名古屋大学 | 42.54 |
| 4 | 東京大学  | 42.64 |
| 5 | 大阪大学  | 42.70 |
| 6 | 東北大学  | 43.57 |

### 4x400mR

|   |       |         |
|---|-------|---------|
| 1 | 京都大学  | 3.17.44 |
| 2 | 東北大学  | 3.17.49 |
| 3 | 大阪大学  | 3.19.49 |
| 4 | 名古屋大学 | 3.19.57 |
| 5 | 北海道大学 | 3.23.02 |
| 6 | 東京大学  | 3.27.81 |

### 走高跳

|   |       |       |      |
|---|-------|-------|------|
| 1 | 真鍋 周平 | 大阪 4  | 2m18 |
| 2 | 西川 漠  | 東北 3  | 2m07 |
| 3 | 真鍋 享平 | 大阪 2  | 2m01 |
| 4 | 田中 啓  | 東京 4  | 1m85 |
| 4 | 森田 敏広 | 名古屋 4 | 1m85 |
| 4 | 横矢龍之介 | 京都 3  | 1m85 |

### 棒高跳

|   |       |       |      |
|---|-------|-------|------|
| 1 | 細川 尊史 | 大阪 4  | 4m50 |
| 2 | 森田 敏広 | 名古屋 4 | 4m00 |
| 3 | 端浦 雅人 | 名古屋 4 | 3m80 |
| 4 | 垣畑 陽  | 京都 4  | 3m80 |
| 5 | 平野 聖  | 京都 4  | 3m60 |
| 6 | 山本 剛史 | 東北 1  | 3m60 |

### 走幅跳

|   |       |      |      |
|---|-------|------|------|
| 1 | 藤田 靖浩 | 東京 4 | 7m00 |
| 2 | 杉本 昌大 | 京都 3 | 6m94 |
| 3 | 吉岡 和夫 | 東京 4 | 6m75 |
| 4 | 斉藤 陽  | 東北 4 | 6m73 |
| 5 | 竹内 昌男 | 東京 2 | 6m67 |
| 6 | 大西 輝政 | 大阪 1 | 6m65 |

### 三段跳

|   |       |       |       |
|---|-------|-------|-------|
| 1 | 福山 大典 | 京都 4  | 14m63 |
| 2 | 横矢龍之介 | 京都 3  | 14m39 |
| 3 | 大西 輝政 | 大阪 1  | 14m03 |
| 4 | 鈴木 泰伸 | 名古屋 4 | 14m98 |
| 5 | 佐野 太郎 | 東京 2  | 13m77 |
| 6 | 北島 明文 | 京都 2  | 13m75 |

### 砲丸投

|   |       |      |       |
|---|-------|------|-------|
| 1 | 上田 雄義 | 大阪 2 | 12m81 |
| 2 | 竹村顕太郎 | 京都 4 | 12m22 |
| 3 | 森川 陽介 | 京都 2 | 11m02 |
| 4 | 依田 典朗 | 東北 2 | 10m48 |
| 5 | 田中 聡一 | 京都 2 | 10m40 |
| 6 | 作本 和秀 | 大阪 4 | 10m28 |

### 円盤投

|   |       |       |       |
|---|-------|-------|-------|
| 1 | 上田 雄義 | 大阪 2  | 36m31 |
| 2 | 合田 隆彦 | 東京 2  | 35m06 |
| 3 | 飛田 雄一 | 東北 3  | 33m72 |
| 4 | 山村 彰紀 | 名古屋 1 | 32m97 |
| 5 | 垣畑 陽  | 京都 4  | 31m12 |
| 6 | 森川 陽介 | 京都 2  | 30m83 |

### ハンマー投

|   |       |       |       |
|---|-------|-------|-------|
| 1 | 山村 彰紀 | 名古屋 4 | 43m38 |
| 2 | 木村 克也 | 京都 3  | 37m12 |
| 3 | 田中 聡一 | 京都 2  | 36m21 |
| 4 | 飛田 雄一 | 東北 3  | 34m01 |
| 5 | 依田 典朗 | 東北 2  | 32m56 |
| 6 | 合田 隆彦 | 東京 2  | 30m54 |

### やり投

|   |        |       |       |
|---|--------|-------|-------|
| 1 | 上田 雄義  | 大阪 2  | 59m08 |
| 2 | 山本 貴之  | 京都 1  | 53m43 |
| 3 | 作本 和秀  | 大阪 4  | 52m87 |
| 4 | 野々垣春戸陽 | 京都 1  | 52m28 |
| 5 | 松田 俊   | 京都 3  | 50m12 |
| 6 | 鈴木 基史  | 名古屋 4 | 48m82 |

## 七大戦女子記録

### 1000m(-2.1)

|   |       |       |       |
|---|-------|-------|-------|
| 1 | 塩入 敦子 | 東京 4  | 12.91 |
| 2 | 中村ちひろ | 東北 5  | 13.00 |
| 3 | 安田 理香 | 名古屋 1 | 13.33 |
| 4 | 若村 由樹 | 名古屋 3 | 13.26 |

### 400m

|   |       |       |       |
|---|-------|-------|-------|
| 1 | 塩入 敦子 | 東京 4  | 58.42 |
| 2 | 久野 理絵 | 名古屋 4 | 59.12 |
| 3 | 中村ちひろ | 東北 5  | 59.77 |
| 4 | 目黒亜由子 | 東京 4  | 59.95 |

### 800m

|   |       |       |         |
|---|-------|-------|---------|
| 1 | 目黒亜由子 | 東京 4  | 2.16.45 |
| 2 | 久野 理絵 | 名古屋 4 | 2.21.43 |
| 3 | 小山 倫代 | 名古屋 2 | 2.22.10 |
| 4 | 益野加奈子 | 九州 3  | 2.22.67 |

### 3000m

|   |       |       |          |
|---|-------|-------|----------|
| 1 | 工藤亜樹子 | 東北 2  | 10.12.23 |
| 2 | 三谷 奈央 | 名古屋 3 | 10.28.03 |
| 3 | 向田 恵  | 東京 2  | 10.29.32 |
| 4 | 小山 倫代 | 名古屋 2 | 10.45.79 |

### 4x100mR

|   |       |       |
|---|-------|-------|
| 1 | 名古屋大学 | 50.83 |
| 2 | 東京大学  | 51.98 |
| 3 | 京都大学  | 54.32 |
| 4 | 東北大学  | 57.02 |

### 走高跳

|   |       |       |      |
|---|-------|-------|------|
| 1 | 河合 春菜 | 京都 1  | 1m45 |
| 2 | 海野 益代 | 京都 2  | 1m40 |
| 3 | 勝野 麻美 | 北海道 4 | 1m40 |
| 4 | 本間 諒子 | 東京 1  | 1m30 |

### 走幅跳

|   |       |       |      |
|---|-------|-------|------|
| 1 | 海野 益代 | 京都 2  | 5m20 |
| 2 | 原田 幸  | 名古屋 6 | 5m00 |
| 3 | 森村あかね | 京都 2  | 4m72 |
| 4 | 吉川 泰代 | 大阪 1  | 4m60 |

### 砲丸投

|   |       |       |      |
|---|-------|-------|------|
| 1 | 高橋 明珠 | 名古屋 3 | 9m99 |
| 2 | 野坂 幸代 | 名古屋 3 | 7m58 |
| 3 | 本間 諒子 | 東京 1  | 7m34 |
| 4 | 北川 佳奈 | 京都 4  | 6m96 |

## 七大戦オープンの結果

(7月26日 青葉陸上競技場)

### 100m

|        |       |      |
|--------|-------|------|
| 藤井 章輔  | 10.87 | +3.7 |
| 花谷 直人  | 10.92 | +2.1 |
| 萩澤 佑樹  | 11.09 | +4.2 |
| 堀江 匠   | 11.13 | +3.6 |
| 大野 淳史  | 11.16 | +3.6 |
| 杉本 昌大  | 11.22 | +3.1 |
| 白方 朗文  | 11.34 | +2.4 |
| 瀬々井 巖士 | 11.34 | +5.0 |
| 藤森真一郎  | 11.59 | +3.7 |
| 山岸 公彦  | 11.72 | +3.3 |
| 山田 裕   | 11.78 | +3.1 |
| 平野 聖   | 11.85 | +3.3 |
| 吉良 佳晃  | 12.09 | +2.4 |

### 400m

|       |       |
|-------|-------|
| 花谷 直人 | 49.32 |
| 大野 淳史 | 51.94 |
| 藤森真一郎 | 52.55 |
| 葭中 聡  | 52.82 |
| 真鍋 文朗 | 54.23 |
| 井上 智志 | 56.82 |

### 1500m

|       |         |
|-------|---------|
| 菅原 健志 | 4.19.05 |
| 木村 善則 | 4.29.15 |
| 山城 丈  | 4.34.26 |
| 水井 研吾 | 4.36.90 |
| 北野 佑樹 | 5.02.82 |

### 5000m

|       |          |
|-------|----------|
| 相澤 泰隆 | 15.54.36 |
| 宇部 達  | 16.18.19 |
| 山本 直  | 16.42.90 |

|       |          |
|-------|----------|
| 福山 拓郎 | 16.48.31 |
| 吉川浩太郎 | 16.59.59 |
| 木村 祐介 | 17.00.37 |
| 山下 輝芳 | 17.01.61 |
| 高木 健次 | 17.25.04 |
| 田中 裕介 | 17.41.66 |

### 5000mW

|       |          |
|-------|----------|
| 杉本 明洋 | 20.42.89 |
| 田中 裕介 | 29.09.95 |

### 走幅跳

|       |      |      |
|-------|------|------|
| 花谷 直人 | 5m58 | +3.3 |
|-------|------|------|

### やり投

|       |       |
|-------|-------|
| 田端 康平 | 40m25 |
| 花谷 直人 | 36m54 |
| 森 一   | 23m57 |

### 女子 1500m

|       |         |
|-------|---------|
| 中村 有里 | 5.31.07 |
|-------|---------|

### 記号の見方

: 男子種目

: 女子種目



---

蒼穹ニュース 平成16年度 第4号

平成16年8月17日 発行

---

発行所：京都大学体育会陸上競技部

編集者：中尾太郎・高橋孝治・山本直・吉崎敬祐（副務）

特別協力：森一・田中齊太郎（学連員）・滝上伸子（体育会員）

山田修裕（記録係）・山下輝芳（HP係）

写真担当：石田真大・松久佳弘・森川陽介

---

陸上競技部 HP <http://www.kusu.kyoto-u.ac.jp/~athletic/index.html>  
蒼穹ニュース HP <http://www.kusu.kyoto-u.ac.jp/~athletic/soukyu.htm>  
陸上競技部記録 HP <http://homepage2.nifty.com/bridge-as/>  
関西学連 HP <http://gold.jaic.org/jaic/icaak/index.htm>  
メールアドレス [discus-k@amber.plala.or.jp](mailto:discus-k@amber.plala.or.jp)（吉崎）